

エコデザイン 2012 ジャパンシンポジウム 開催報告

大阪大学 福重真一

日時：2012年12月11日(火)、12日(水)

会場：SEMI ジャパン会議室(東京都江東区豊洲 3-7-5)

主催：エコデザイン学会連合、産業技術総合研究所、エコデザイン推進機構

後援：日本経済新聞社、SEMI ジャパン

協賛：社団法人産業環境管理協会、日本高純度化学株式会社、株式会社日立製作所
富士通株式会社、三菱電機株式会社

2012年12月11日と12日の2日間にわたり、東京都内においてエコデザイン 2012 ジャパンシンポジウムが開催された。本シンポジウムは『エコデザイン、ローカルからグローバルへ』をテーマとして、「地域密着型のシーズをいかにしてグローバルに展開して行くか」「グローバルな産業がいかにしてローカルなニーズを吸い上げてゆくか」「小規模の再生可能エネルギーに代表されるようなローカルな環境技術をいかにして広範にネットワーク化して行くか」の3つの視点から、基調講演、企画講演、一般講演から成る8つのセッションが企画され、計43件の講演発表があった。各講演の概要は以下の通りである。

なお、2013年12月には韓国・済州島において EcoDesign2013 国際シンポジウムが開催される予定である。

I. オープニングレクチャー

矢部彰氏 (独立行政法人産業技術総合研究所 理事)

II. 基調講演 (4件)

浅野浩志氏 (東京大学大学院)

「次世代エネルギーシステムの姿 ～電力の安定供給と環境負荷軽減の両立を目指して～」

白石隆氏 (政策研究大学院大学)

「これからのアジア/アジア太平洋と日本」

進士誉夫氏 (東京ガス(株))

「今後のエネルギー情勢とスマートエネルギーネットワークの役割」

加藤敏氏 (一般社団法人 スマートプロジェクト)

「エネルギーのインターネット～社会システムの自律分散協調系に向けて～」

III. 企画講演 (15件)

セッション1 : ITによる環境負荷低減

セッション2 : 建設関係、空調関係、都市関係

セッション3 : 大学・研究機関の取り組み

セッション4 : 電気、機器、エコプロダクツ

セッション5 : EcoDesign2011 優秀講演

IV. 一般講演 (24件)